

SEASONAL NEWS 季報 ポンプ & クラシックス! POMP and CLASSICS!

CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 2013年10月31日発行 第2号(季刊・毎年1、4、7、10月発行)

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-21-16-402 TEL 03-5719-7601 FAX 03-5719-7603 E-mail info@classic.or.jp http://www.classic.or.jp/ 発行人: 関田正幸 編集人: 徳永英樹

いよいよ開催!!

「ジャパン・クラシック・フェスティバル2013 Vol.2」

～未来を担う子どもたちへ～

=11月～12月、首都圏、中京、関西を中心に登録公演72公演=

「700名以上の青少年を抽選でクラシックコンサートにご招待」

協会と会員各社が共に創りあげるフェスティバル「ジャパン・クラシック・フェスティバル2013 Vol.2」が今秋11月～12月いよいよ開催となります。

今年は会員社が中心となり宮城県から福岡県まで、計72の公演がラインナップ、約700人の子ども達をホンモノのクラシックコンサートに抽選でご招待いたします。このフェスティバルの特徴は、子ども達が自分自身で様々なジャンルのクラシック公演を選んで応募出来る事、今回もピアノやヴァイオリンのコンサートからオーケストラ、オペラまで盛りだくさんのうえ、日本人演奏家から来日する海外の有名アーティストまで、協会でなければ実現出来ないラインナップとなっています。

ズシンとくる迫力・・・「鳥肌がたった」

これはジャパン・クラシック・フェスティバルにてクラシックコンサートのラ

イブ体験をした子どもたちから寄せられた手書きの感想です。未来を担う多くの子どもたちにホンモノのクラシック音楽の感動体験をして欲しいという願いからこのフェスティバルは誕生しました。

協会では、過去「クラシックはいかが?」等のクラシック音楽の普及事業に取り組んで来ました。しかし観客の高齢化はとまらず、現在では本場のヨーロッパでさえも、観客の高齢化を余儀なくされています。

このような時代だからこそ、未来を担う子どもたちに、私たちの愛するクラシック音楽の素晴らしさを体験して欲しいと会員一同願ってやみません。

ひとつでも多くのホンモノに出会い、感動を体験するチャンスは子どもたちの人生を必ず豊かにすることでしょう。今年の「ジャパン・クラシック・フェスティバル」是非ご期待下さい!!

協賛: 日清製粉グループ、ヤマハ株式会社、ヤマハ音楽振興会



人材育成事業「会員研修会～各種助成金の活用策研究&作成講座」報告

(副会長 入山 功一/株式会社AMATI代表取締役)



民間音楽事業者は、各種助成金を得ることが可能なのか。

様々なハードルがあって、そもそも助成を得るなど無理、という大方の理解が正しいのか。

そのような基本的で素朴な疑問や思い込みを検証する機会になればと、会員各社から20名ほどの参加者のもと研修会は行われました。

冒頭、丹羽事務局より、大別して国や自治体などの公的な助成と民間財団などの助成があること、その具体的な助成団体の名称が披露されました。続いて、多くの助成申請実務を経験されている日本オペラ振興会の仁科事業部長から、具体的な申請のテクニックや暗黙のルールも披露され、熱心な参加者と多くの質疑応答が交わされました。

その後、参加者のさまざまな経験、断片的な情報など、充実した意見交換が行われ、時に白熱した議論となりました。

そして、この研修会における結論として、民間音楽事業者自身が申請可能な助成は少ないものの、演奏者および演奏団体が申請することや公演の運営母体を実行委員会にすることで道が拓けること、民間音楽

事業者が各種助成団体の知識やノウハウを蓄積し、公共ホールに対するセールスに活かすことも可能ではないかとの、現状に即したアイディアも出て閉会となりました。

今回の研修会を通じ、間接的であったとしても、民間音楽事業者が助成を得る機会が豊富に存在し、まだまだ研究する余地のあることが参加者の理解するところとなり、実りある研修会になったようです。

今後も、タイムリーな事案について、この研修会が役立てればと思います。

一方、私としては、それとは別の感慨も感じずにはられません。

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」いわゆる劇場法が施行され、芸団協や公文協など、さまざまな機関団体で劇場法施行後の公共ホールのあり方が議論されています。

私自身もそのいくつかに参加して感じることは、私たち民間音楽事業者の位置づけが曖昧なことです。

劇場法で言う、芸術実演団体とは性格を異にするものの、民間音楽事業者は、公共ホールのクラシック音楽事業において、一定の役割を演じてきており、現在もその存在感は失われていないと確信しております。翻って、今回のように各種助成金事業について検証すると、劇場法と同じような民間音楽事業者に対する見方を感じ、大きな疑問を感じるのです。

さまざまな抜け道やテクニックを弄して助成を得るのではなく、民間音楽事業者が堂々と自らの存在を主張して、助成金が申請出来る環境を目指すこと、それこそが当協会の取り組むべき事業であると、今更ながらに感じる研修会でもありました。

Topics

「日清製粉グループ Konaフェスタ2013」大盛況に終了!!

10月5日(土)と6日(日)の2日間、国営昭和記念公園(東京都立川市)にて、日清製粉グループ主催の「Konaフェスタ2013」が開催されました。日清製粉グループによる粉食文化に親しんでいただく催しとして2008年より開催されているこのイベント、開催時より協会は協力団体として参加するとともに、フェスティバルをより盛り上げるプロフェッショナルなステージパフォーマンスの制作を受託してきました。「おいしく食べて、知って、遊ぼう」のコンセプトにより、屋外で「日清フーズ」のつけスパゲティや「ヴィア・パルテノペ」のピッツァ、「めっせ熊」の道頓堀やきそば等の粉料理をお楽しみいただきながら、協会制作のステージパフォーマンスをお楽しみいただきました。尚、2日間で約9,000名の方にご来場いただきました。



Percussion Performance Players!!(PPP)
(左から:木村就生、鈴木和徳、元田優香、山口古津絵、秋場一宏)

協会提案のステージパフォーマンス

- 東京シティ・フィルバラス[金管五重奏]
企画:(有)ソナーレ・アートオフィス
- Eroica木管五重奏団[木管五重奏]
企画:(株)東音企画
- サクソフォンカルテット桜[サクソフォン四重奏]
企画:(株)プレレディオ
- Percussion Performance Players!!(PPP)[パーカッションアンサンブル]
企画:(株)1002
- DigitalLyrica ガラ・コンサート[オペラ]
企画:(株)二期会21



DigitalLyricaオペラ・ガラコンサート
(左から:清水のりこ/エレクトーン、与那城敬、バリトン、高田正人/テノール、
鶴木絵里/ソプラノ、彌勒忠史/カウンターテナー)

「音楽文化シンポジウム」を開催します

先号でもお知らせいたしましたが、今年度より研修会やシンポジウム等の人材育成事業を積極的に展開します。今号では、来年二月に開催を計画している音楽文化シンポジウムについて一足早く皆様にご案内をいたします。今回は「音楽事業の連携シンポジウム～地域毎のオリジナリティ溢れる事業展開に向けて」(仮称)と題して、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律が施行された事から、地域の文化振興の担う全国のホールと我々クラシック音楽事業者との効果的な連携に向けたシンポジウムを計画しています。尚、今回のシンポジウムは(公社)全国公立文化施設協会の共催事業として開催予定ですので、全国のホールからの参加者も期待出来ます。会員の皆様、関係団体の皆様、是非ご参加下さい。

音楽事業の連携シンポジウム ～地域毎のオリジナリティ溢れる 事業展開に向けて～(仮称)

内容 対談&シンポジウム
日時 2014年2月7日(金) 13:30～15:30
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟501会議室
料金 無料
主催 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
共催 公益社団法人全国公立文化施設協会

NTT都市開発

150 Years of Music in Japan 五線譜に描いた夢 日本近代音楽の150年

2013年10月11日(金) - 12月23日(月・祝) 東京オペラシティ アートギャラリー Tokyo Opera City Art Gallery



開館時間:11:00-19:00(金・土は20:00まで/最終入場は閉館の30分前まで)

休館日:月曜日(ただし、祝日の場合は翌火曜日)

入場料:一般1000[800]円/大・高生800[600]円/中・小生600[400]円

お問合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル)

*同時開催「収蔵品展040 響と粉」,「project N 54 大塚美穂子」の入場料を含みます。

[]内は15名以上の団体料金。その他、閉館1時間前より半額、65歳以上半額。土・日・祝日の中・小生無料。

障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

主催:公益財団法人 東京オペラシティ文化財団、明治学院大学、NIKKIプロモーション、

日本経済新聞社 | 協賛:NTT都市開発株式会社 | 協力:株式会社ヤマハミュージックリテイリング

アクセス:京王新線・初台駅(東口)直結

Friday, 11 October - Monday, 23 December, 2013 | Tokyo Opera City Art Gallery

Open hours: 11:00 - 19:00 (to 20:00 on Fridays and Saturdays, entry up to 30 minutes before closing)

Closed on Mondays (Tuesday if the Monday is a public holiday)

Admission: adult 1000 [800] yen / university and high school students 800 [600] yen /

junior high and elementary school students 600 [400] yen Organisers: Tokyo Opera City Cultural

Foundation / Meiji Gakuin University / NHK PROMOTIONS INC. / NIKKEI Inc.

Sponsor: NTT Urban Development Co. Support: YAMAHAMA MUSIC RETAILING Co., Ltd.

写真 左:国公立文化施設提供 右:右岸資本「日本近代音楽の夢」のためのミュージアム(10/11)写真

7月30日～8月1日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化支援 事業登録アーティストプレ ゼンテーション

(財)地域創造が東京芸術劇場(東京都豊島区)にて開催した「地域創造フェスティバル」において、全国の公共ホール担当者等に向けて、三日間で計53組のアーティストが演奏とトークによるプレゼンテーションを行いました。

8月20日 マネジメント部会

協会が長年の懸案である、海外の芸術家に対する源泉所得税の二重課税の解消とビザ発券簡略化に向けて今後どう取り組んでいくか、担当理事を中心に協議しました。

9月3日 ジャパン・クラ シック・フェスティバル ウェ ブサイト及びチラシ完成

<http://www.classic.or.jp>

(詳細は1面)

9月3日～4日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業 登録アーティスト集合研修会

(財)地域創造の上記事業登録アーティストとして来年度から2年間全国でクラシック音楽公演を行う演奏家7名が、事業の仕組みや地域での普及活動等について学びました。

9月11日 第1回会員研 修会「各種助成金の活用 策研究&作成講座」

(詳細は1面)

10月5～6日[協会受託事業] 日清製粉グループKona フェスタ2013

(詳細は2面)

10月11日 関西音楽記 者クラブとクラシック協会 との意見交換会&関西拡大 理事会

協会では年一度のペースで地方での理事会を開催すると共に、地方会員との積極的な交流を図っています。今回は兵庫県の西宮市にある兵庫県立芸術文化センターの研修室にて、関西音楽記者クラブから5名、協会役員13名、関西地区会員6名による意見交換会が開催されました。冒頭にクラシック協会の活動概況として、クラシック音楽の普及事業、音楽文化の発展の為に事業、社会貢献事業等の説明が四役各位により行われました。続いて、関西のクラシック界の状況等について、首都圏よりも厳しい状況にある関西地区をいかに活性化させるか等の意見交換が行われました。

尚、今回の会場については、賛助会員である兵庫県立芸術文化センター様のご協力により開催されました。ご協力に会員一同感謝申し上げます。



宝くじドリーム館ランチタ イムコンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。

7月24日 東京 BLACK BOTTOM BRASS BAND
(プラスバンド)

7月25日 大阪 唐津健/チェロ
(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)
鷺宮美幸/ピアノ

9月25日 東京 高木和弘/バイオリン
(音楽芸術家協会所属)
佐藤勝重/ピアノ

9月26日 大阪 沢崎恵美/ソプラノ
(日本オペラ振興会所属)
矢田信子/ピアノ

10月23日 東京 野尻小矢佳/パーカッション&ボイス
(ブレルーディオ所属)
沢木良子/ピアノ

10月24日 大阪 浜まゆみ/マリンバ
(プロ アルテムジケ所属)
羽田めぐみ/ピアノ



7/24 BLACK BOTTOM BRASS BAND

●書籍好評販売中!

音楽とともに働きたい人の必携書!!

「クラシック・コンサート制作の基礎知識」好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価 2,100円(税込・送料別) お申込み・お問合わせは事務局まで。

発行 株式会社ヤマミュージックメディア 制作 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,000人、登録曲 2万曲超

『曲』を軸として各種情報へリンクしているオンラインの事典です。
楽曲解説、視聴音源、楽譜、コンサートなど各種情報へアクセスできる、
プラットフォームを目指しています。

ピアノ曲事典

検索

www.piano.or.jp/enc/

広告募集中

発行部数:500部

配布対象:協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(1月、4月、7月、10月予定)

料金:1枠(天地58mm×左右92mm)1万円(消費税別)

What's New

会員情報

- [退会] 正会員 特定非営利活動法人関西芸術振興会
 [退会] 正会員 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団
 [退会] 賛助会員 株式会社ソーケン
- [住所変更] 賛助会員 公益財団法人ソニー音楽財団
 新住所: 162-0843 東京都新宿区市谷田町1-4 SME市谷ビル8F
 新TEL: 03-5227-5231 新FAX: 03-5227-5232
- [電話変更] 賛助会員 株式会社東朝エージェンシー
 新TEL: 営業第二部直通 03-6280-2103
- [名称変更] 正会員 (旧) 財団法人民主音楽協会
 ↓
 (新) 一般財団法人民主音楽協会
- [人事] 正会員 一般財団法人住友生命福祉文化財団 いずみホール
 常務理事/いずみホール支配人 若林 昌憲
 常務理事/本部事務局長 篠原 照明(支配人は退任)
- [人事] 正会員 有限会社大阪アーティスト協会
 代表取締役 黒川 浩明
- [人事] 正会員 株式会社東急文化村
 取締役会長 越村 敏昭
 代表取締役副社長 高木 仁
- [人事] 賛助会員 名古屋芸術大学
 事務長 日高 義啓

※敬称略、順不同

第28回 クラシック音楽健球会

協会定例行事であるGOLFコンペを開催しました。幸いに猛暑も前日の雨から打って変わって天気にも恵まれました。(報告・中坪功雄)

日時: 2013年9月6日(金)

場所: カメリアヒルズカントリークラブ(千葉県袖ヶ浦)

今回の参加者は全員で11名で、優勝は栗林信介(顧問弁護士)。

準優勝は永田義人(オレンジノート)、第三位は林ゆたか(ブライトワン)となりました。

そのほかには仁田雅士(東急文化村)、浅井辰之(東急文化村)、善積俊夫(協会参与)、中坪功雄(ナカツボ・アーツ)、たかくさわこ(ブライトワン)、宇治重喜(ブライトワン)、向山大介(びあ)、大沼千秋(ジャパン・アーツ)(敬称略)の皆様にご参加いただきました。

次回「第29回クラシック音楽健球会」は2014年春に予定しています。参加ご希望の皆様にはご案内をお送りさせていただきます。事務局: 大沼千秋(ジャパン・アーツ)、ohnuma@japanarts.co.jpまでご一報ください。ゴルフを通じてより一層の親睦を深めたいと願っております。奮ってご参加をお待ちしています。



リレーエッセイ



副会長
林 伸光

(兵庫県立芸術文化センター セネラルマネージャー兼事業部長)

前回、徳永専務理事が、地方からの発信について述べられました。リレーでそれを受けて…

公立の劇場の場合、自主事業を概ね3つのカテゴリーに仕分けするのが、一般的です。前回のエッセイにも登場した、「創造発信型」事業。そして、「普及型」「鑑賞型」です。公的助成(民間)には、概ね前2つが対象とされます。もちろん、地方から新しい文化を創造するには、助成なくしては、大変高額な入場料金となり受け入れられなくなります。それに対して、「鑑賞型」と呼ばれるジャンルは、「買い公演」として、下位にみなされることが多くあります。しかし、観客目線からすれば、実際にそうなのでしょうか? 劇場とは、興味溢れるソフトが、絶えず盛り沢山であることが最も重要なことではないでしょうか?

民間、公立の劇場経営に30年以上携わってきた実感として、劇場経営の根幹は、ラインナップ作りにあると考えます。地域の顧客の芸術文化に対する「潜在的なニーズ」を色々な手法で顕在化させながら、幅広いニーズに応えられる自主事業ラインナップをシーズン期間内で横に広げ、一つ一つの事業の発展系を先回りして準備するという縦の作業、つまり、縦横の計画の中に自主事業を位置付けることが劇場経営の最大戦略です。そんな中で、「鑑賞型」事業を主に支えるのが、当協会でも最も多い構成員である「音楽事業者」です。しかしながら、今回のいわゆる「劇場法」の中で、芸術関係事業者の役割については「実演芸術団体等」と一括されています。芸術家、芸術団体と、劇場や地方主催者の橋渡しを行い、日本の芸術文化振興に寄与してきた芸術関係事業者の役割について、より明確化して行くことも我々のクラ協の責務と考えています。

今後の活動予定

10月30日 17時~18時半 シンポジウム 「文化省の創設を考える」

主催: 文化芸術振興議員連盟/

文化芸術推進フォーラム

会場: 東京美術倶楽部

当会は文化芸術推進フォーラムの構成団体です。

1月17日 理事会、新年会(予定)

2月7日 音楽事業の連携シンポジウム ~地域毎のオリジナリティ溢れる 事業展開に向けて~(仮称)

時間: 13:30~15:30

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟501会議室

共催: 公益社団法人全国公立文化施設協会

地域のホールと事業者との連携について考えます。

宝くじドリーム館 ランチタイムコンサート

11月27日 東京 Dual KOTOXKOTO/箏デュオ
(ブレルーディオ所属)

11月28日 大阪 Quatuor B/サクソフォン四重奏
(ミリオンコンサート協会所属)

12月11日 東京 大石将紀/サクソフォン
(オカムラ&カンパニー所属)

12月12日 大阪 松尾俊介/クラシック・ギター
(オカムラ&カンパニー所属)

1月22日 東京 甲斐摩耶/ヴァイオリン
(音楽芸術家協会所属)

1月23日 大阪 神谷未穂/ヴァイオリン
(ミリオンコンサート協会所属)

※2月、3月も開催します。